

平成26年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名	市民活動支援事業		担当部署	市民環境部 市民協働推進課		
総合計画体系			根拠法令 計画など	自治基本条例/社会貢献活動の促進に関する条例/ボランティアセンター活動補助金交付要綱/ボランティア連絡協議会活動補助金交付要綱/WeLoveなるとまちづくり活動応援補助金交付要綱		
基本政策(大項目)	4	おおきく躍動みんなで創るまちづくり		事業期間	開始	平成 17 年度
政策(中項目)	1	全員参加で創るまち なんと				終期
(小項目)		ボランティア・NPO				
施策	3	ボランティア・NPO法人の活動促進				
基本事業	1	ボランティア・NPO法人の活動促進				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 市民、ボランティア、NPO法人など						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	自発的、自立的な社会貢献活動が盛んに行われる。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	単位
		NPO法人・ボランティア団体数	117	120	/	/	/	団体

◎実施結果(DO)

事業実施内容	25年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	市民活動支援センターにおいて、NPO法人設立を目指す団体や、ボランティア活動に取り組もうとする方々への相談や情報提供など支援を行った。また、鳴門市ボランティア連絡協議会や自治振興連合会等とともに「市民活動交流研修会」を開催するとともに、支援センター指導員と本課職員が連携して市内のNPO法人の現場を訪問し、活動内容や抱えている課題等の把握に努めた。また、公募提案型補助金「WeLoveなるとまちづくり活動応援補助金」を創設し、主体的にまちづくり活動に取り組む団体の活動促進と経済的自立に向けた支援を行った。					
事業実施手法		<input type="checkbox"/> 市実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
指標名		24年度実績	25年度実績	26年度目標	27年度目標	28年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	相談件数	61	69	/	/	件
	2	WeLoveなるとまちづくり活動応援補助金事業実施団体数		8	/	/	団体
成果指標 対象にどのような効果があつたか示す指標	NPO法人・ボランティア団体数		115	111	-	-	団体
	目標達成率(実績/目標)		/	92.5	-	-	-

コスト分析		24年度実績	25年度実績	26年度	27年度	28年度	単位
事業費	(財源内訳の合計)		1,714	2,585	/	/	千円
	財源内訳	国	0	0	/	/	
		県	0	0	/	/	
		地方債	0	0	/	/	
		その他	0	867	/	/	
		一般財源	1,714	1,718	/	/	
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)		3,114	3,114	/	/	人	
人件費内訳	正規職員(6,517千円/人)	0.2	0.2	/	/		
	臨時職員等(2,012千円/人)	0.9	0.9	/	/		
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)		4,828	5,699	/	/	千円	

【事務事業名:市民活動支援事業】

◎平成26年の実施状況(DO)

現在の実施状況	市民活動支援センターの業務を市民協働推進課で直接行うこととし、市民活動相談担当を配置した。これまでと同様にNPO法人の設立、運営に関する相談などの業務を行い、市民活動の現状と課題の把握に努める。また、ボランティア団体・NPO法人等から行事予定や参加者募集・会員募集などの情報をこれまで以上に収集し、庁内掲示板や市公式ウェブサイト等で周知協力を行う。 昨年度より創設した公募提案型の「Weloveなるとまちづくり活動応援補助金」の周知に努め、活用促進を図り、市民活動をこれまで以上に支援する。(平成26年度より市民協働のまちづくり推進事業に統合)
----------------	---

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価		理由等所見欄
	6	<input checked="" type="checkbox"/> ① 廃止した場合に支障が出る。	「鳴門市社会貢献活動の促進に関する条例」や「鳴門市自治基本条例」に基づき、市は社会貢献活動の促進に必要な施策を講じるとも市民の主体的なまちづくり活動を支援する必要がある。
		<input checked="" type="checkbox"/> ② 施策 ボランティア・NPO法人の活動促進 の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input type="checkbox"/> ④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。	
		<input type="checkbox"/> ⑤ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	/10	<input type="checkbox"/> ⑥ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	2.有効性の評価		理由等所見欄
	6	<input checked="" type="checkbox"/> ① 市民生活上の課題解決に貢献している。	市民参画と協働によるまちづくりをさらに推進していくうえで、NPO法人やボランティア団体を支援することは新たな公共の担い手を創出することにつながる。
		<input checked="" type="checkbox"/> ② 行政内部の管理上の課題解決に貢献している。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ③ 事業目標が達成できるような事業内容になっている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ④ 事業対象は適切である。	
<input type="checkbox"/> ⑤ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。			
/10	<input type="checkbox"/> ⑥ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。		
3.効率性の評価		理由等所見欄	
8	<input checked="" type="checkbox"/> ① 事業実施手法は適切である。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	<input type="checkbox"/> ⑤ 効率性向上の余地はない。		
/10			

◎今後の方向性(ACTION)

課題					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	<input type="text"/> <input type="text"/>			
	どのように改革するのか				